鶴中四大文化を軸として地域から学び、地域で活躍する生徒の育成

本校には、「あいさつ」「歌声」「リサイクル」「ボランティア」の鶴中四大文化がある。生徒たちは、代々この文化の継承と発展に努めている。本年度は、昨年度までの制限が少しずつ解除される中で、以前のような四大文化の継承と発展に向けた動きが戻りつつある。生徒たちの活動の場を少しずつ地域へ戻し、地域から学び、地域で活躍する鶴中生の育成をめざす。

西尾市立鶴城中学校

鶴中四大文化の継承・発展

1　生徒会・委員会主催の各種校内活動の充実を図る。

・生徒会による「ＴＳクールビズ」、「トイレ磨きボランティア」の実施。

・学習委員会による「ＣＩＰ（Class Improved Project）」の実施。

・視聴覚委員会による「鶴中レイディオ」の実施。

・安全委員会による交通マナー向上の活動の充実。

2　校外に視野を広げたボランティア活動を実施する。

・動物愛護団体、ユニセフ募金の実施（予定）。

・ベルマーク回収活動の実施。

・紙パック、アルミ缶、エコキャップ回収活動の実施。

地域から学び、地域で活動する機会の充実

1　講師や体験先を地域に求める。

・１年　達人に出会う会（講師招聘）

・２年　生き方を学ぶ会

（ロータリークラブによる出前授業）

・３年　学生議会

2　活動の場を地域に広げる。

・演奏交流会、定期演奏会での演奏発表（吹奏楽部）

・校区内の行事への参加（茶道部）

保護者、地域の方が生徒の活動にふれる場の充実

・教職員と保護者が交流できる「学校へ行こう（給食試食会)」「制服リサイクルバザー」等を実施する。

・ＰＴＡ実行委員、学校評議員、民生児童委員等、地域の方が校内や授業の様子を参観できる機会を設ける。

・体育大会や鶴中文化の創造などの学校行事を保護者や地域の方に公開する。

・鶴中ブログ等を活用し、生徒の活動の様子を保護者や地域の方に伝える。